

新しいビジネスモデルが創る 生鮮卸市場流通セミナー

日時	平成18年10月16日(月) 10:00~17:00
会場	JJK会館(全国情報サービス産業厚生年金基金会館)
対象	卸売市場開設者、水産卸・仲卸企業、水産流通関係企業
講師	農林水産省ご担当官 イオン(株) (株)仙台水産 日本総研

参加のおすすめ

- わが国の生鮮卸市場流通は、販売チャネル面での直売所の隆盛や、量販店への直売ワゴンの導入、また行政からは卸市場へのネット取引導入の取り組み強化が打ち出される中、各自治体で公表された第8次卸売市場整備計画のスケジュールを軸に、新しい時代への扉を開きつつあります。
- 一方、卸売企業では、持ち株会社方式や合併による系列化など業界再編と従来からは予想できないスピードで進行しております。この動きは、経済のデフレ基調の定着とともに、広く産業界一般にも通底した傾向であり、生鮮流通効率へ向けて中長期の大きな流れになっていくものと考えられます。
- 従来から指摘されてきた、卸市場の物流効率化や情報化は、市場法改正、第8次中央卸売市場整備計画という規制緩和によって制度的条件が整えられ、業界再編というビジネス原理を推進エンジンとして大きく動き出そうとしています。
- 本セミナーでは、このような生鮮流通を取り巻く環境変化を踏まえ、特に水産物に着目して、行政、実需家、卸企業、コンサルタントの各視点から以下の検討を行います。

セミナープログラム(主な内容)

1. 生鮮流通を取り巻く事業環境と 新ビジネスモデル創造へ向けた7つの視点

(株)日本総合研究所 大澤信一

- 生鮮流通を取り巻く事業環境
 - 新モデル創造へ向けて検討すべき7つの視点
事業複合化 IT導入 安全・安心の仕組み作り インフラの高度利用 デザイン戦略 マネジメントのブラッシュアップ その他(防災、セキュリティ)
- ### 2. 卸市場流通の規制改革と情報化、 合理化推進施策
- 農林水産省 市場対策室 課長補佐
笠原洋一氏
- 市場法改正後の生鮮流通効率化へ向けた諸施策について
 - 卸市場へのネット取引導入の数値目標と推進施策他

3. 量販店からみる水産マーケットの動向と これからの生鮮流通改革について

イオン株式会社 SSM商品本部 水産商品部 部長
南谷和彦氏

- 量販店における水産物販売の現状
- 安全・安心と水産物の販売戦略
- 量販店が取り組む水産物流通効率化

4. 生鮮流通における情報化、 物流合理化の推進と今後の卸市場流通

株式会社 仙台水産 代表取締役会長
島貫文好氏

- 卸市場から見る水産マーケット
- 今後の卸市場の役割
- 当社における情報化、物流効率化への取り組み
質疑応答